

---

---

とちぎクリーンプラザ基幹的設備改良工事及び  
包括的業務委託事業（第三期）  
最優秀提案者選定結果報告書

---

---

令和4年10月  
栃木市

栃木市長 大川 秀子 様

とちぎクリーンプラザ基幹的設備改良工事及び包括的業務委託事業（第三期）に係る提案書について、落札者決定基準に基づき厳正に審査し、最優秀提案者を選定したので、次のとおり報告します。

令和4年10月21日

とちぎクリーンプラザ包括的業務委託事業者審査委員会  
委員長 藤原 浩巳

## 1. 事業の概要

### 1.1 事業目的

本施設は、ごみ焼却施設、リサイクルプラザ及びリサイクルセンターからなる施設である。リサイクルセンターが平成3年3月、ごみ焼却施設及びリサイクルプラザは平成15年3月に竣工し、平成19年9月に灰溶融炉の改造工事を実施しているが、リサイクルセンターは稼働開始から31年、ごみ焼却施設及びリサイクルプラザは稼働後19年が経過し、施設の設備・機器の老朽化が進行している状況である。

本事業では、今後も安全かつ安定したごみ処理を行っていくために基幹的設備改良工事を実施し、本施設の延命化対策を図るものとする。

また、本事業における業務の実施に際しては、本施設に関し、基本性能を発揮させ、安定性、安全性を確保しつつ、効率的に運営・維持管理をするものとする。

### 1.2 事業名

とちぎクリーンプラザ基幹的設備改良工事及び包括的業務委託事業（第三期）

### 1.3 事業の実施場所

栃木県栃木市梓町456番地32

### 1.4 事業内容

#### (1) 基幹的設備改良工事

本市が策定した「とちぎクリーンプラザ長寿命化総合計画」に基づき、本施設の基幹的設備改良工事を実施する。

今後も安全かつ安定したごみ処理を実施するため、施設の延命化を図るものである。

なお、循環型社会の形成に寄与すべく、CO<sub>2</sub>排出量の削減対策（CO<sub>2</sub>削減率3%以上）も併せて実施することにより、国の交付金の対象事業として実施するものである。

#### (2) 包括的業務委託

本事業における運營業務は、本市が収集するもやすごみ、もやさないごみ、粗大ごみ、資源物等及び市民が直接搬入するごみ、本市の許可業者が搬入するごみ等の処理を行うため、本施設の計量業務、運転管理業務、維持管理業務、環境管理業務、資源化促進業務、情報管理業務、防災管理業務、その他関連業務を実施する。

### 1.5 対象施設

本事業の対象とする施設の概要は、以下のとおりである。

とちぎクリーンプラザ																
計量棟	① 形式：ロードセル式（4点支持式） ② 数量：2基 ③ ひょう量：最大ひょう量 30 t（搬入用）、30 t（搬出用） 最小目盛り 10 kg ④ 計量装置：カード自動読取及びキー操作手動															
ごみ焼却施設	① 規模：焼却設備 237t/日（118.5 t/日×2系） 熔融設備 20t/日（10 t/日×2炉） ② 処理方式：焼却炉：全連続燃焼式焼却炉（ストーカ炉） 熔融炉：テルミット式両面熔融炉 ③ 蒸気タービン設備：2,500 kW ④ 熔融スラグストックヤード 675 m <sup>2</sup> ⑤ その他※															
リサイクルプラザ	① 規模：破砕・選別・圧縮設備 30 t/5h （もやさないごみ、粗大ごみの破砕・選別処理、ペットボトル・トレイの選別・圧縮処理） ストックヤード 延床面積 259.7 m <sup>2</sup> ② 処理方式：破砕・選別・圧縮 ③ 蛍光管破砕機 ④ その他※															
リサイクルセンター	① 規模：選別・圧縮設備 20 t/5h ② 処理方式：選別・圧縮 ③ その他※															
その他関連設備等	① 空調設備 ・空冷式冷専パッケージエアコン 7基 ・空冷ヒートポンプ用パッケージエアコン 13基 ・蒸気吸収式冷凍機 ・蒸気-水熱交換器及び関連設備 ② エレベーター 2基 <table border="1" data-bbox="555 1469 1366 1666"> <thead> <tr> <th></th> <th>1号機</th> <th>2号機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用途</td> <td>人荷共用(兼車椅子用)</td> <td>人荷共用(兼車椅子用)</td> </tr> <tr> <td>積載荷重</td> <td>9,800 N</td> <td>9,800 N</td> </tr> <tr> <td>最大定員</td> <td>15人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>定格速度</td> <td>60 m/分</td> <td>45 m/分</td> </tr> </tbody> </table> ③ 給排水設備 ・合併処理浄化槽(45人槽、14.02m <sup>3</sup> ) 井戸ポンプ 2基 等 ④ 消防設備 ⑤ 駐車場 ⑥ 管理棟 ⑦ その他構内設備		1号機	2号機	用途	人荷共用(兼車椅子用)	人荷共用(兼車椅子用)	積載荷重	9,800 N	9,800 N	最大定員	15人	15人	定格速度	60 m/分	45 m/分
	1号機	2号機														
用途	人荷共用(兼車椅子用)	人荷共用(兼車椅子用)														
積載荷重	9,800 N	9,800 N														
最大定員	15人	15人														
定格速度	60 m/分	45 m/分														

※ その他とは、処理施設に関連する建築物及び建築物中の居室（事務室、居室、浴室、トイレ等）を指す。

## 1.6 事業期間

整備期間 : 令和 5 (2023) 年 1 月～令和 8 (2026) 年 3 月 (3 年 3 か月間)

運営準備期間 : 令和 5 (2023) 年 1 月～令和 5 (2023) 年 3 月

運営期間 : 令和 5 (2023) 年 4 月～令和 20 (2038) 年 3 月 (15 年間)

(運営準備期間とは、事業者の運転員等が、既存運転事業者から、本施設の運転等を引き継ぐに要する準備期間である。)

## 2. 選定方法

### 2.1 審査の方法

本事業では、設計・建設、運営・維持管理の各業務において、民間事業者による効率的・効果的なサービスの提供を求めることから、民間事業者の選定にあたっては、民間事業者の創意工夫やノウハウを総合的に評価して選定することが必要である。従って、価格による競争性を確保しながら技術提案の内容を評価し審査できるなど、価格競争と技術力のバランスを図ることが可能な総合評価一般競争入札により行った。

この入札における落札者を選定するための審査は、入札説明書、要求水準書等及び落札者決定基準に基づき、入札参加者から提出された提案書について行った。

## 2.2 入札・契約等のスケジュール

入札・契約等のスケジュールは表1のとおりである。

表1 入札・契約スケジュール

日付	内容
令和4年6月29日（水）	入札公告
令和4年7月6日（水）	資格審査に関する質問受付
令和4年7月14日（木）	資格審査に関する質問に対する回答の公表 資格審査書類受付開始
令和4年7月21日（木）	資格審査申請書類の受付締切り
令和4年7月28日（木）	資格審査結果通知 現地見学会及び参考図書配付・閲覧申込開始
令和4年8月3日（水）	現地見学会及び参考図書の申込締切り
令和4年8月4日（木）から 令和4年8月5日（金）まで	現地見学会及び参考図書配付・閲覧
令和4年8月10日（水）	入札説明書等に関する質問受付
令和4年8月18日（木）	入札説明書等に関する質問に対する回答の公表 入札保証金免除申請書受付開始
令和4年9月5日（月）	入札保証金免除申請書提出締切り
令和4年9月22日（木）	入札書及び提案書類の受付日
令和4年10月21日（金）	提案書審査（提案書に関するヒアリングの実施）
令和4年11月中旬	落札者の決定及び公表
令和4年11月中旬	基本協定締結
令和4年11月下旬	事業契約の仮契約
令和4年12月中旬	事業契約締結

## 2.3 審査委員会の設置

落札者の選定にあたり、専門的知見に基づいて審査を実施するため「とちぎクリーンプラザ包括的業務委託事業者審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置した。審査委員は表2のとおりである。

表2 審査委員

氏名	所属・役職
藤原 浩巳（委員長）	宇都宮大学地域デザイン科学部 学部長
春日 正男	船田教育会 顧問、作新学院大学 客員教授
山田 覚	白鷗大学経営学部 教授
濱田 雅巳	公益社団法人全国都市清掃会議 技術指導部長
安田 憲二	元国際環境研究協会 プログラムオフィサー

## 3. 審査の方法

### 3.1 提案書の確認

市は、入札参加者から提出された提案書がすべて揃っていることを確認した。

### 3.2 提案書の審査

#### 3.2.1 提案書審査の基本方針

本事業の目的を実現するうえで必要な事項を審査項目とするとともに、審査委員会による客観的な視点から入札参加者の提案内容について審査を行った。

#### 3.2.2 プレゼンテーション及びヒアリング

審査委員会は、入札参加者の提案内容について、より理解を深めるため、入札参加者からプレゼンテーションを受け、また、ヒアリングを行った。

#### 3.2.3 審査項目、評価の視点及び配点

審査項目、評価の視点及び配点については、表3のとおりである。

表3 審査項目、評価の視点及び配点

審査項目	評価の視点	配点	評価のポイント
1. 基幹的設備改良工事に関する事項		24点	—
(1) (8点) 性能に関する事項	ア 施設機能の回復	2点	ごみ処理能力を回復させるとともに、ごみ質・ごみ量の変動に対し安定稼働に向けた対策を講じているか。
	イ 公害防止性能の確保	2点	排ガス、騒音・振動、処理生成物等の公害防止性能を確保するとともに、性能向上を図っているか。
	ウ CO <sub>2</sub> 排出量の削減	4点	エネルギー回収量の増加や、省エネルギー機器の導入等により、本施設のCO <sub>2</sub> 排出量を3%以上削減しているか。
(2) (4点) 設計に関する事項	ア 設計・施工業務対象機器における維持管理性の保持・向上	2点	設計・施工業務の対象設備・機器における維持管理性や運転操作性を維持するとともに、その向上を図っているか。
	イ 省資源化への取り組み	2点	設計・施工業務で使用する資機材は、省資源化に配慮された製品等を採用するよう取り組まれているか。
(3) 施工に関する事項 (12点)	ア ごみの搬入・処理に配慮した工事計画	4点	施設を稼働しながらの工事となるため、ごみの搬入及び処理に支障がないよう配慮した工事計画となっているか。また、工事期間中の外部処理量を最小限にする配慮がなされているか。
	イ 工事中の安全対策	2点	施設稼働に伴う人や車両の動線に配慮し、工事中の安全対策には十分注意しているか。
	ウ 工事中の環境保全対策	2点	工事中は災害対策に万全を期し、周辺住民への排ガス、騒音、振動等の公害防止にも十分配慮しているか。
	エ 地元への配慮	4点	施工段階における地元（本市内）企業の活用及び資材の発注について配慮しているか。また、美化活動や環境教育活動など地域貢献活動予定の内容が具体的に示されているか。



審査項目	評価の視点	配点	評価のポイント
2. 運営業務に関する事項		28点	—
(1) 業務実施体制 (8点)	ア 業務実施体制及び人員配置	2点	運営業務に適した業務実施体制が構築され、十分な資格・経験を有する人員が配置されているか。また、バックアップ体制について配慮されているか。
	イ 労働安全衛生・作業環境管理・防火管理・施設警備・防犯体制及び連絡体制(通常時及び緊急時)	2点	緊急時を含め、本市への連絡・報告体制及び危機管理体制が確保されているか。また、連絡・報告手順が具体的に示されているか。
	ウ 地元への配慮	4点	運営段階における地元(本市内)企業の活用、資材の発注及び雇用について配慮しているか。また、美化活動や環境教育活動など地域貢献活動予定の内容が具体的に示されているか。
(2) 運転管理業務 (14点)	ア 計量業務及び搬入管理	2点	ごみ処理手数料徴収、搬入車両安全確保や処理不適物混入防止など搬入管理にあたり重視する点とその対応が適切か。
	イ 運転管理業務(ごみ焼却施設)	2点	要監視基準値の遵守に向けて、設備・運転管理にあたり重視する点とその対応が適切か。
	ウ 運転管理業務(リサイクルプラザ、リサイクルセンター)	2点	資源化の純度・回収率の向上に向けて、設備・運転管理にあたり重視する点とその対応が適切か。
	エ 焼却残渣の適正処理	2点	灰溶融処理によりスラグ化されない焼却残渣等が発生した場合に重視する点とその対応が適切か。受注者の責による場合と発注者の都合による場合それぞれについて、灰溶融設備を停止した場合の対応が示されているか。
	オ 搬出物の管理・資源化の促進	2点	ごみ焼却施設より搬出される処理残渣及び資源化物を適正に管理するとともに、資源化を促進するための具体的な提案がなされているか。
	カ 余剰電力の最大化及び適正管理	4点	余剰電力を最大化するために必要な対策と適正に電力会社等へ供給するための具体的な提案がなされているか。

審査項目	評価の視点	配点	評価のポイント
(3) 維持管理業務 (補修点検) (4点)	ア 点検・検査及び補修計画	2点	設備・機器の点検・検査及び補修計画策定にあたって、重視する点とその対応が適切か。
	イ 備品・什器・物品・用役の調達計画及び管理	2点	運転計画に基づき、経済性や供給安定性に配慮した備品・什器・物品・用役の調達を計画するとともに、災害発生時など緊急時対応を考慮しているか。
	ア 環境保全計画	2点	運営期間中、公害防止条件及び環境保全基準に係る協定書に基づき遵守状況を監視するための要監視基準等が適切に設定されているか。
3. 事業計画に関する事項		8点	—
(1) 経営計画・事業 収支計画 (2点)	ア 経営計画・事業収支計画	2点	事業の効率性、事業収支の安定性確保及び各年度の委託料平準化のための方策が示されているか。
	(2) リスク管理計画 (6点)	イ 災害発生時の対応	4点
合計		60点	—

### 3.2.4 提案内容の得点化

審査委員会は、入札参加者から提出された提案書の内容について、表 3 の各審査項目に関して表 4 に示す「評価点の付与の考え方」に基づいて評価を行い、得点化した。また、審査項目ごとの評価点は、各委員採点結果の平均点とし、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。

表 4 評価点の付与の考え方

評価	判断基準	得点化方法
A	特に優れている。	配点×1.00
B	AとCの中間程度。	配点×0.80
C	優れている。	配点×0.60
D	CとEの中間程度。	配点×0.40
E	要求水準を満たす程度。	配点×0.20

### 3.3 入札価格の確認と得点化方法

開札を行い、入札書記載の金額が入札説明書に規定する予定価格の金額の範囲内であることを確認した。

また、入札価格については、下記の方法により価格点を算定した。

(価格点の算定式)

$$\text{価格点 (40 点満点)} = 40 \text{ 点} \times (\text{最低入札価格} / \text{入札価格})$$

### 3.4 総合評価点の算定

内容点と価格点を合計した値を総合評価点とし、当該総合評価点が最も高い提案を行った入札参加者を最優秀提案者として選定した。

(総合評価点の算定式)

$$\text{総合評価点 (100 点満点)} = \text{内容点 (60 点満点)} + \text{価格点 (40 点満点)}$$

## 4. 審査結果

### 4.1 入札参加者

事務局で参加資格要件の確認を実施したところ、表 5 に示す 1 グループが入札参加者となった。

表 5 入札参加者一覧

入札参加者番号	参加資格の有無
か わ	有

### 4.2 提案書の確認

事務局で、1 グループから提出された提案書について、必要な項目や枚数制限に不備の無いこと、また、提案事項間の齟齬、矛盾等がないことを確認した。

確認の結果、提案書に不備等は見当たらず、すべて揃っていたため、委員会において提案書審査を行うこととなった。

### 4.3 提案書審査結果

提案書の審査及び評価の結果は、表 6、表 7 に示すとおりとなった。

表 6 提案書審査・評価結果 (1/2)

審査項目	評価の視点、ポイント	配点	得点
1. 基幹的設備改良工事に関する事項		<b>24</b>	<b>17.9</b>
(1)性能に関する事項		8	5.9
ア 施設機能の回復	ごみ処理能力を回復させるとともに、ごみ質・ごみ量の変動に対し安定稼働に向けた対策を講じているか。	2	1.4
イ 公害防止性能の確保	排ガス、騒音・振動、処理生成物等の公害防止性能を確保するとともに、性能向上を図っているか。	2	1.5
ウ CO <sub>2</sub> 排出量の削減	エネルギー回収量の増加や、省エネルギー機器の導入等により、本施設のCO <sub>2</sub> 排出量を3%以上削減しているか。	4	3.0
(2)設計に関する事項		4	3.4
ア 設計・施工業務対象機器における維持管理性の保持・向上	設計・施工業務の対象設備・機器における維持管理性や運転操作性を維持するとともに、その向上を図っているか。	2	1.7
イ 省資源化への取り組み	設計・施工業務で使用する資機材は、省資源化に配慮された製品等を採用するよう取り組まれているか。	2	1.7
(3)施工に関する事項		12	8.6
ア ごみの搬入・処理に配慮した工事計画	施設を稼働しながらの工事となるため、ごみの搬入及び処理に支障がないよう配慮した工事計画となっているか。また、工事期間中の外部処理量を最小限にする配慮がなされているか。	4	3.0
イ 工事中の安全対策	施設稼働に伴う人や車両の動線に配慮し、工事中の安全対策には十分注意しているか。	2	1.4
ウ 工事中の環境保全対策	工事中は災害対策に万全を期し、周辺住民への排ガス、騒音、振動等の公害防止にも十分配慮しているか。	2	1.5
エ 地元への配慮	施工段階における地元(本市内)企業の活用及び資材の発注について配慮しているか。また、美化活動や環境教育活動など地域貢献活動予定の内容が具体的に示されているか。	4	2.7
2. 運営業務に関する事項		<b>28</b>	<b>22.5</b>
(1)業務実施体制		8	6.5
ア 業務実施体制及び人員配置	運営業務に適した業務実施体制が構築され、十分な資格・経験を有する人員が配置されているか。また、バックアップ体制について配慮されているか。	2	1.5
イ 労働安全衛生・作業環境管理・防火管理・施設警備・防犯体制及び連絡体制(通常時及び緊急時)	緊急時を含め、本市への連絡・報告体制及び危機管理体制が確保されているか。また、連絡・報告手順が具体的に示されているか。	2	1.8
ウ 地元への配慮	運営段階における地元(本市内)企業の活用、資材の発注及び雇用について配慮しているか。また、美化活動や環境教育活動など地域貢献活動予定の内容が具体的に示されているか。	4	3.2

表7 提案書審査・評価結果 (2/2)

審査項目	評価の視点、ポイント	配点	得点
(2)運転管理業務		14	11.2
ア 計量業務及び搬入管理	ごみ処理手数料徴収、搬入車両安全確保や処理不適物混入防止など搬入管理にあたり重視する点とその対応が適切か。	2	1.4
イ 運転管理業務(ごみ焼却施設)	要監視基準値の遵守に向けて、設備・運転管理にあたり重視する点とその対応が適切か。	2	1.4
ウ 運転管理業務(リサイクルプラザ、リサイクルセンター)	資源化の純度・回収率の向上に向けて、設備・運転管理にあたり重視する点とその対応が適切か。	2	1.7
エ 焼却残渣の適正処理	灰溶融処理によりスラグ化されない焼却残渣等が発生した場合に重視する点とその対応が適切か。受注者の責による場合と発注者の都合による場合それぞれについて、灰溶融設備を停止した場合の対応が示されているか。	2	1.8
オ 搬出物の管理・資源化の促進	ごみ焼却施設より搬出される処理残渣及び資源化物を適正に管理するとともに、資源化を促進するための具体的な提案がなされているか。	2	1.7
カ 余剰電力の最大化及び適正管理	余剰電力を最大化するために必要な対策と適正に電力会社等へ供給するための具体的な提案がなされているか。	4	3.2
(3)維持管理業務(保守管理・補修点検)		4	3.0
ア 点検・検査及び補修計画	設備・機器の点検・検査及び補修計画策定にあたって、重視する点とその対応が適切か。	2	1.4
イ 備品・什器・物品・用役の調達計画及び管理	運転計画に基づき、経済性や供給安定性に配慮した備品・什器・物品・用役の調達を計画するとともに、災害発生時など緊急時対応を考慮しているか。	2	1.6
(4)環境管理業務		2	1.8
ア 環境保全計画	運営期間中、公害防止条件及び環境保全基準に係る協定書に基づき遵守状況を監視するための要監視基準等が適切に設定されているか。	2	1.8
3. 事業計画に関する事項		8	6.7
(1)経営計画・事業収支計画		2	1.7
ア 経営計画・事業収支計画	事業の効率性、事業収支の安定性確保及び各年度の委託料平準化のための方策が示されているか。	2	1.7
(2)リスク管理計画		6	5.0
ア リスク管理に係る、リスク管理方針や信用補填手段を含めた対策	リスク管理体制が確保され、リスクに係る管理方針、信用補填手段を含む対策が適切か。	2	1.6
イ 災害発生時の対応	災害発生時の安全確保対策並びに事業継続に向け、適切な計画及び方策が示されているか。	4	3.4
合 計		60	47.1

#### 4.4 入札価格審査結果

入札価格の審査結果は、表 8 に示すとおりとなった。

表 8 入札価格審査結果

項目	入札参加者	予定価格※
	かわ	
入札価格	25,851,000,000 円	25,851,290,000 円
工事費	7,965,000,000 円	7,965,040,000 円
運営費	17,886,000,000 円	17,886,250,000 円
価格点 (配点 40 点)	40 点	—

※消費税及び地方消費税を除く。

#### 4.5 総合評価結果

4.3 提案書審査結果及び 4.4 入札価格審査結果より、総合評価結果は表 9 に示すとおりとなり表 10 に示す「かわ」を最優秀提案者として選定した。

表 9 総合評価結果

項目	入札参加者
	かわ
提案書の内容点 (配点 60 点)	47.1 点
提案書の価格点 (配点 40 点)	40 点
総合評価点 (配点 100 点)	87.1 点

表 10 最優秀提案者

入札参加者番号	かわ
代表企業	エクシオグループ株式会社
構成員	— (単独企業)
協力企業	— (単独企業)

## 5. 審査講評

次頁に審査講評を示す。



## 審査講評

とちぎクリーンプラザ包括的業務委託事業者審査委員会

委員長 藤原 浩巳

本事業は、安定的な事業運営の継続はもちろんのこと、安全・安心で環境に配慮し経済性にも優れた運営管理が求められており、本事業を実施する事業者には専門的知識やノウハウ（運営管理能力等）を有することが必須となる。

そこで、本委員会では、入札参加希望者である「かわ」から提出された入札提出書類について、落札者決定基準に則り、透明性・公平性を確保しつつ、専門的知見に基づき、厳正に審査を行った。

入札参加希望者からは、本事業の目的を的確に捉え、それぞれの技術的知見やノウハウに基づいて要求水準を十分に満足する提案がなされており、適切な運営が期待できる内容となっていた。

その結果、本委員会は、入札参加希望者「かわ」（エクシオグループ株式会社）を最優秀提案者として選定した。

今後、市と事業者の良好なパートナーシップにより、本事業の事業目的及び基本方針に基づき、適切なおみ処理による安全・安心の確保はもちろんのこと、環境に配慮した処理の推進により、さらなる循環型社会の構築に寄与されることを期待する。

そのため、本委員会としては、事業者が、公共サービスのさらなる向上を目指して市と十分な協議・調整を行い、次の諸点に配慮しながら真摯に事業の実施に当たられるよう要望する。

- ①本施設は、長期にわたって市民生活を支える重要な公共施設であることから、「安全・安心・安定」「省エネ・省資源」「CO<sub>2</sub>削減」を基本とした施設の維持管理を実現するため、事業提案内容の具体化はもちろんのこと、さらなる改善に努めること。
- ②施設を稼働しながら基幹的設備改良工事を実施する特性を踏まえ、本事業を安全かつ確実に実施するとともに、市との協議により、より良い施設となるよう努めること。
- ③施設利用者等への丁寧な説明と対応を心がけるとともに、地域住民との対話や交流を通じた環境学習や普及啓発等の実践により、市民に親しみのある施設となるよう努めること。さらに、運営期間を通じて、地元企業への発注や地元雇用の拡大を図るなど、地域の発展等に貢献すること。
- ④精密機能検査や法定・定期点検や故障対応などの記録を正確に行うとともにその分析的確に行い、本施設の延命化に努めること。
- ⑤日常点検はもとより、施設内の整理・整頓・清掃等を継続的かつ着実に実施し、常に清潔かつ健全な状態に保つこと。

以上